

日時：令和 7 年 8 月 6 日（水） 15:00～17:00

方式・場所：日本応用地質学会事務局（WEB 併用）

出席（対面）：船山部会長、堀幹事、佐伯委員、宇佐美委員（4名）

出席（WEB）：磯部委員（1名）

欠席（委任）：竹村副部会長、大谷幹事、清崎、塩崎、池見、山本、福田、太田 各委員（8名）

不明：島村、菅野 各委員（2名）

計 15 名

その他：稻垣顧問

議事録

1. 部会長挨拶

- ・出欠確認
- ・議事録作成について、大谷幹事と堀幹事が務めていたが宇佐美委員も加わることになった。加えて、佐伯委員からは協力していくとの申し入れがあった。

2. 令和 7 年度第 2 回部会議事録案の確認

- ・議事録の内容について堀幹事から説明があった。
- ・再度内容を各委員で確認し、メールで共有したのち議事録を確定させる。

3. 各種報告

1) 部会委員の公募の件（船山）

①公募書面および公募方法案

- ・船山部会長から理事会および総務委員会に提出した公募方法の案などの説明があった。
- ・研究発表会に環境地質研究部会でブースを出す予定で、そこで公募をする予定。
- ・ブースに掲示するポスターに HP や公募案内などの QR コードを貼る。
- ・公募方法としては無難なのではないかと各委員から意見があった。

②研究発表会のブースについて

- ・ブースには、A0 サイズのポスターを 2 枚掲示する予定。
- ・船山部会長から、以前作成した「再生可能エネルギー」のポスターを掲載するのはどうかとの提案があり了承された。
- ・もう半分のポスタースペースについて、議論、検討を行い、その結果下記 6 つの案が示された。

1. HP 掲載の当部会の設立目的や研究対象内容、現在活動中の WG（担当：船山部会長・佐伯委員）
 2. ジオ・メリット（お酒と地質）（担当：船山部会長）
 3. 防災教育（担当：佐伯委員・宇佐美委員）
 4. 古街道・海岸隆起（担当：大谷幹事）
 5. 人工地層（担当：磯部委員）
 6. ふるさとの石（担当：佐伯委員）
- ・上記 6 点をどのようにポスターに配置するか、船山部会長が検討する。
 - ・ブースへの参加申し込みは 8/29〆切、ポスター作成は直前でも良い。

2) 学会 HP の更新 (磯部、船山、堀、大谷)

①新 HP の体裁などについて

- ・R7 年度の議事録を掲載する。
- ・学会誌に連載した「再生可能エネルギーシリーズ」について、HP での引用方法がわかりにくいので、「ジオ・メリットシリーズ」と同様の書式に書き換える。
- ・上記 2 点について、磯部委員が担当する。

②ジオ・メリットシリーズの精査・掲載について

- ・学会誌に掲載した「ジオ・メリットシリーズ」をそのまま HP に掲載する方向で話を進める。
- ・日本印刷（株）に依頼した原稿は、3 年分くらいは残っているとの情報。ただし、古いものは難しいかも知れない。
- ・(株) 土木工学社に依頼した原稿は残っていない。
- ・依頼原稿が残っていないものについては、学会誌をスキャン PDF 化することになるが、誰がどのように実施するかは検討していく。
- ・今まで話をしてきたリライトは一旦ペンドティングとする。

3)他委員会の報告 (教育普及、ダイバーシティ等)

- ・特になし。

4. 再生可能エネルギー連載

- ・第 14 回「再生可能エネルギーと応用地質」6 月号掲載
- ・第 15 回「「再生可能エネルギー」連載シリーズを終えるにあたって」同上
- ・これにて終了となる。

5. WG 活動報告

(1) WG 概要

環境地質研究部会 ワーキンググループ 活動状況					
グループ番号	グループ名	担当 ○：リーダー	活動概要	R6計画	R5実績
WG-A	ジオ・メリット研究グループ	○宇佐美委員、清崎委員 ○山本委員、池見委員、佐伯委員 塩崎委員	地域の地質の恩恵や防災上の留意点について、一般市民への啓発活動や地域産業等への貢献に関する研究を行う。	・公園展示の石や建築物石材などの市民への解説 ・公園関係者への防災教育協力	・都立武藏野の森公園を訪問し、公園展示の「ふるさとの石」の補足解説や防災活動への協力について継続的に意見交換
WG-B	人工構造物研究グループ	○大谷幹事、竹村副部会長 磯部委員 ○塙幹事	道路等のインフラや盛土等の人工地層に影響を及ぼす地質条件に関する研究を行う。	・能登半島地震での被害との関係について研究、研究発表会で発表	・「神奈川県の古代東海道」の研究報告 ・盛土規制法の話題提供
WG-C	自然環境研究グループ	○船山部会長、竹村副部会長、島村委員、佐伯委員	自然環境を活用した応用地質技術に関する研究を行う。		
WG-D	再生可能エネルギー研究グループ	○清崎、船山、宇佐美、塩崎、堀	再生可能エネルギーについて、応用地質分野とかかわりのある事項について研究を行う。	・再生エネルギー学会誌連載のまとめ、研究発表会で発表	・令和5年9月9日（土）に神奈川県相模川流域において巡検 ・第12回2023/4月号掲載 海洋エネルギーを利用した発電技術と応用地質 ・洋上風力発電の海底地盤調査について、田中氏（基礎地盤コンサルタント）より話題提供

(2) WG 活動状況

1) WG-A ジオ・メリット研究グループ

①武藏野の森公園関係（企画、防災支援の件等）（佐伯、宇佐美委員、大谷幹事）

- 公園と詰めていく必要がある。
- 防災マップを作成もしくは自然災害のレクチャー、どちらかでないと厳しい。
- 公園関係者に事前にレクチャーし、当日は防災マップ作りの裏方手伝いを行う方向で公園関係者と話しをしていく。
- 自然災害や防災関係のネタとしては、地理院地図、今昔マップ、災害アプリキキクルなど。
- 武藏野の森公園防災フェスタは、12月13日 or 14日の予定。
- 防災フェスタへの協力について、学会や部会の名前を出すのか出さないのか、聞き取り、調整が必要。
- 8月中に佐伯委員が公園関係者と打合せを実施する。その際のレジュメを事前に作成し委員に共有する。
- 防災フェスタということもあるので、災害研究部会に相談もありかもしれない。

②「ふるさとの石」解説シート＋日本地質図の進捗状況（佐伯委員、大谷幹事、堀幹事、宇佐美、清崎委員、船山部会長）

・応用地質学会各支部への協力依頼状況

- 東北、中部、関西、中国・四国支部からは協力するとの返答があった。
- まずは、研究発表会へ向けて準備を行う。ポスター案は発表直前で良い。
- 船山部会長から研究発表会へ是非参加をとの話があった。とくにポスター前に交代で要員が必要。
- 武藏野の森公園での3月の府中高校のイベントに何らか合わせて作成するか今後の課題とする。

③「ジオ・メリット」学会誌アラカルトシリーズのリライト

・巻頭言（船山）：投稿時期の目安について

・お酒と地質（船山）：つくばのワインの話題を入れたい。ダイバーシティとの連携（北海道ワイン）。

・石材（大谷幹事）：笠間石切り場巡検はどうか

・温泉・地熱資源、エネルギー（清崎委員）

・地下空間利用（塩崎委員）

・他（宇佐美委員）

→ 当面は学会誌掲載のものを精査し、HPに掲載する方向で進める。

2) WG-B 人工構造物研究グループ（インフラ、盛土等の人工地層など）

・インフラ（海岸隆起と人間活動）の話題提供等（大谷幹事）

・人工地層の話題提供等（磯部委員、船山部会長）

→ 特になし。

3) WG-C 自然環境研究グループ

・話題提供等（船山）

→ 特になし。

4) WG-D 再生可能エネルギー研究グループ

- ・連載シリーズ 6月号予定 (14, 15)
- ・今後の研究企画があれば
→ とくになし。

5) 各 WG 活動・報告スケジュールについて

→ とくになし。

6. 話題提供、巡査等

(1) 巡査

- ・日程： R7/9/6 (土)
- ・場所：つくばワイン、笠間採石場
- ・確認事項：レンタカーカード、石切山脈予約、ワインヤード日程連絡
参加者 舟山部会長、大谷幹事、菅野、堀、磯部、塩崎 各委員

7. 予定その他

1) 次回研究部会日程

10月1日 (水) 15:00~17:00

添付資料

資料 1 R7 第3回議事次第

資料 2 R7 第2回部会議事録 (案)

資料 3-1 委員公募方法・書面案

資料 4-1 7/28 理事会資料 (ふるさとの石、委員公募、ジオ・メリット掲載)

資料 4-2-1~4-2-3 「ふるさとの石」支部協力依頼資料

資料 4-3 WG-A 資料 武藏野の森公園、防災教育関係

資料 4-4 WG 活動計画

資料 5 巡査計画資料 (つくばワインヤード、笠間採石場)

その他

以上